キャンパス・アメニティ

(1)福利厚生施設

当別キャンパスの食堂は、「中央食堂1階」「同2階」「基礎棟食堂」「20周年記念会館食堂」の4か所、札幌あいの里キャンパスは「レストラン逢いの里」の食堂があり、多くの学生・教職員が利用している。当別キャンパスにおいては、リハビリテーション科学部及び大学院同研究科の新設に伴い、食堂の拡充を検討する中で、当別町商工会の協力の下、別途弁当販売を開始した(2013.4.15−)。また、中央講義棟10階ビューラウンジに「社会福祉法人ゆうゆう」が運営する「ダブルトールカフェ」を開設した(2014.4.8−)。なお、両キャンパスでのパン販売（当別/毎火・札幌あいの里/毎金)や、当別キャンパスでの移動販売車による軽食類の販売（2015年度～）実施等、福利厚生環境の整備に努めている。

なお、両キャンパスに書籍・文具類、歯科材料、生活用品、電化製品等を取り扱う売店、「丸善売店」「モリタ売店」があり、20 周年記念会館1階コンビニエンスストア(2006.12.15～)・郵便局の ATM、中央食堂 1 階：北海道銀行・北洋銀行 CD 機、大学病院地下 1 階：北洋銀行 CD 機等をそれぞれ設置している。

① 食堂等

- 中央食堂 (434席)
- 基礎棟食堂 (267席)
- 20周年記念会館食堂 (195席)
- 札幌あいの里キャンパス食堂 (186席)
  (レストラン逢いの里)
- ダブルトールカフェ (148席)

② 売店等

- 丸善売店 …書籍・文具
- モリタ売店…歯科材料
- コンビニエンスストア…食品・生活用品ほか
  (セイコーマート北海道医療大学店)

(2)学友会館、クラブハウス、茨戸研修センター

学生の研修施設として、体育館に併設して「クラブハウス」が設置され、1階には、体育系サークルの部室・武道場・ウェイトトレーニング室・シャワー室、2階には、学術文化系サークルの部室・会議室・和室・音楽練習室があり、課外活動・研修等に利用されている。

また、札幌あいの里キャンパスがある札幌市北区あいの里地区から程近い茨戸地区に、ボート部の艇庫を併設した宿泊室のある研修施設として「茨戸教育研修センター」を設置しており、本学学生や教職員の宿泊研修等に利用されている。

また、2000 年 12 月には、クラブ部室・吹奏楽等練習室、学生が自己研修やミーティングに自由に利用できる集会室を備えた「学友会館」が完成し、学生の課外活動等に大いに利用されている。

① 学友会館

鉄筋コンクリート4階建　延床面積　1,223.08㎡
吹奏楽等練習室1室、部室26室、シャワー室（洗濯室含む）2室、
集会室2室（大小各1室）、暗室1室、共同物置1室

② クラブハウス

383.76㎡
1F体育系施設、2F文化系施設

③ 茨戸教育研修センター

418.33㎡
艇庫、研修宿泊施設　収容人員20名

(3)交通（JR、自動車、当別町コミュニティバス）

学生の通学における JR 札沼線(愛称・学園都市線)利用率は 75%を超える。1995 年 12 月に折り返し設備が完成し、2 本となったプラットホームは、当別キャンパスの 20 周年記念会館と直結、スカイウェイによって駅から大学まで風雨を避けての連絡が可能である。オール電車化(2012.10.27)により通勤通学時における混雑緩和等が図られ、2020 年 5 月には北海道医療大学－新十津川間の廃止に伴い、JR 学園都市線の終着駅として改札口増設やバスターミナル機能が整備された。

また、本学が運行事業に参加している「当別町コミュニティバス」が当別町及び札幌市北区あいの里地区を運行し、通院通学に利用されている。自動車通学は、当別キャンパスに通学する第 2 学年以上の学生のみ一定の条件の下、特別に許可している。

① JR 札沼線（愛称：学園都市線）について

当別キャンパス直結の「北海道医療大学駅」は、大学名称がそのまま駅名となった、全国でも珍しい駅である。札幌あいの里キャンパスでは、徒歩約 5 分の「あいの里教育大駅」を利用している。

学園都市線は、2012 年 10 月 27 日からすべて電車化（ダイヤ改正）され、「札幌−北海道医療大学」駅間の所要時間は最大 9 分短縮、新型通勤電車の投入、10 本の増発（100→110）、17 本の運転区間延長等により利便性が向上した。

また、2020 年 5 月 7 日をもって「北海道医療大学－新十津川」駅間の運行が廃止となり、それに伴い、改札口の増設等のほか、バスターミナルとしての機能も整備され、「北海道医療大学駅」は、JR 学園都市線の終着駅としての役割を担うこととなった。

② 自家用車通学生の駐車場使用登録許可状況（2026 年 5 月現在）

所属等		許可人数
大学院	薬学研究科	0
	歯学研究科	0
	看護福祉学研究科	0
	心理科学研究科	0
	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科学研究科	0
学部等	薬学部	37
	歯学部	33
	看護福祉学部	15
	心理科学部	4
	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科学部	14
	医療技術学部	0
	臨床ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ学環	0
歯学部附属歯科衛生士専門学校		0
学生計		103
教職員（札幌あいの里キャンパス内数）		381(103)
合計		484
駐車場収容可能台数（札幌あいの里キャンパス内数）		936(212)

③ 当別町コミュニティバス（愛称：当別ふれあいバス）

当別町内及び札幌市北区あいの里地区の運行に係る当別町コミュニティバス運行事業（当別町地域公共交通活性化協議会）に2006年4月から参加している。運行路線9路線のうち、「当別−札幌あいの里」両キャンパスを通る2路線において、両キャンパスの停留所どちらかで乗車・降車する場合は、無料利用することができ、患者様の通院や学生の課外活動等におけるキャンパス間の移動手段として、年間のべ7万人を超える方々に利用されている。

なお、JRの電化に伴い、逐次ダイヤ改正を実施し、更なる接続等の利便性の向上を図っている。

○無料対象路線

・金沢線（当別駅～当別キャンパス）

・あいの里線（当別駅～札幌あいの里キャンパス）

○利用方法

・両キャンパスで降車の場合

→診察券/学生証/職員証を提示

・途中で降車の場合※両キャンパス停留所で乗車した場合のみ

→学　生 ： スマホアプリ「とべナビ」から無料チケットを取得

→患者様 ： 病院・クリニック受付で配付の無料チケットを利用

(4)居住分布

充実した学生生活を過ごす上で、住居の決定は極めて重要であるといえる。特に、本学は、学年進行に伴い学外実習も実施されることから、居住地の選定に当たっても考慮することが求められる。

当別キャンパスは、歯学部学生の約 3 割が当別町に居住している。自宅/自宅外別でみると、半数以上の学生が自宅外に居住し、親元から離れ勉学に励んでいる学生が多いことがわかる。

① 学生の居住地の推移表

居住地分布	薬学部							歯学部							看護福祉学部						
	当別町(人)	当別町(%)	札幌市(人)	札幌市(%)	その他(人)	その他(%)		当別町(人)	当別町(%)	札幌市(人)	札幌市(%)	その他(人)	その他(%)		当別町(人)	当別町(%)	札幌市(人)	札幌市(%)	その他(人)	その他(%)	
2024	262	26.4	558	56.2	173	17.4	2024	168	38.5	244	56.0	24	5.5	2024	80	12.4	484	75.2	80	12.4	
2025	246	26.9	557	60.9	111	12.1	2025	161	35.2	265	57.9	32	7.0	2025	75	11.6	504	78.0	67	10.4	
2026	239	26.4	563	62.1	105	11.6	2026	150	33.6	264	59.1	33	7.4	2026	57	8.9	502	78.7	79	12.4	

居住地分布	心理科学部							リハビリテーション科学部							医療技術学部						
	当別町(人)	当別町(%)	札幌市(人)	札幌市(%)	その他(人)	その他(%)		当別町(人)	当別町(%)	札幌市(人)	札幌市(%)	その他(人)	その他(%)		当別町(人)	当別町(%)	札幌市(人)	札幌市(%)	その他(人)	その他(%)	
2024	59	22.2	185	69.5	22	8.3	2024	209	26.0	509	63.3	86	10.7	2024	10	3.7	223	82.3	38	14.0	
2025	54	20.3	188	70.7	24	9.0	2025	183	24.3	489	65.0	80	10.6	2025	8	2.8	240	82.8	42	14.5	
2026	52	20.3	182	71.1	22	8.6	2026	160	22.3	479	66.8	78	10.9	2026	5	1.7	235	81.3	49	17.0	

居住地分布	臨床データサイエンス学環					
	当別町(人)	当別町(%)	札幌市(人)	札幌市(%)	その他(人)	その他(%)
2026	1	12.5	6	75.0	1	12.5

② 自宅・自宅外別の推移表

自宅・自宅外推移	薬学部					歯学部					看護福祉学部				
	自宅(人)	自宅(%)	自宅外(人)	自宅外(%)		自宅(人)	自宅(%)	自宅外(人)	自宅外(%)		自宅(人)	自宅(%)	自宅外(人)	自宅外(%)	
2024	446	47.8	487	52.2	2024	116	26.6	320	73.4	2024	318	49.4	326	50.6	
2025	462	50.5	452	49.5	2025	139	30.3	319	69.7	2025	339	52.5	307	47.5	
2026	461	50.8	446	49.2	2026	137	30.6	310	69.4	2026	352	55.2	286	44.8	

自宅・自宅外推移	心理科学部					リハビリテーション科学部					医療技術学部				
	自宅(人)	自宅(%)	自宅外(人)	自宅外(%)		自宅(人)	自宅(%)	自宅外(人)	自宅外(%)		自宅(人)	自宅(%)	自宅外(人)	自宅外(%)	
2024	124	46.6	142	53.4	2024	317	39.4	487	70.6	2024	100	36.9	171	63.1	
2025	130	48.9	136	51.1	2025	308	41.0	444	59.0	2025	124	42.8	166	57.2	
2026	132	51.6	124	48.4	2026	327	45.6	390	54.4	2026	151	52.2	138	47.8	

自宅・自宅外推移	臨床データサイエンス学環			
	自宅(人)	自宅(%)	自宅外(人)	自宅外(%)
2026	4	50.0	4	50.0